

〔科目名〕 実証経済分析	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 高 英模	〔オフィス・アワー〕 時間: 随時 場所: メール	〔授業の方法〕 講義および実習
〔科目の概要〕 この講義ではある仮説に基づいて構築した計量モデルを推定し、推定結果に対する解釈を与えることを主目的とする講義と実習を行う。実際のデータを利用した実習を行うことで、これまでに学んだ「経済統計」、「統計学」、そして「計量経済学」の内容を思い起すとともに、それぞれの理解をさらに深めることができる。計量経済学はデータサイエンスの一翼を担う学問である。 講義では教科書と配布資料を利用する。 データ分析には主に gretl を利用する。Excel は補助的に利用する。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 2 年次科目の「統計学」や「計量経済学」は理論の学習を中心に行われていたが、実証分析ではそれらの基礎知識を礎にして様々なモデルを使って仮説検定を行う。この仮説検定による科学的判断は世の中の様々なビジネスや研究の中で活用されている。 計量経済学は経済理論の検証の枠だけにとどまらず、社会学、医学、心理学など、実に様々な学術分野で活用される非常に強力な科学的データ分析手段である。本講義ではあくまで基本となる経済学分野での利用に関し、講義を進めるが、計量経済学を使った実践的なデータ分析の能力は、データを使って議論を行うあらゆるビジネスやリサーチ分野で、役立つものである。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 データから実証分析により何らかの科学的結論を導き出す知識と技術を習得すること。さらに、その結果を他者に報告する力を身につけること。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕		
〔教科書〕 田中隆『計量経済学の第一歩』日本評論社 2015 および教員配布資料		
〔指定図書〕 加藤久和「gretl で計量経済学」日本評論社、2012 年 加藤久和「やさしい計量経済学: プログラミングなしで身につける実証分析」オーム社、2019 年 唐渡広志「44 の例題で学ぶ計量経済学」オーム社、2013 年 山本拓「計量経済学」新世社、2013 年 白砂堤津耶「例題で学ぶ初歩からの計量経済学(第2版)」日本評論社、2007 年 滝川好夫・前田洋樹「経済学のための Excel 入門」日本評論社、2006 豊田利久・大谷一博・小川一夫・長谷川光・谷崎久志『基本統計学』第3版、東洋経済新報社、2010		
〔参考書〕 Jeffrey M. Wooldridge, Introductory Econometrics: A Modern Approach, South-Western Pub, 7th ed, 2019		
〔前提科目〕 2 年次科目「統計学」と「計量経済学」の内容を理解していると講義において大いに役立つ		

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 提出物、期末試験で評価する。なお、出席・授業参加における発言や質問は加点要素となりうる。	
〔評価の基準及びスケール〕 提出物(4 割)、期末試験(6 割)の合計を 100 点満点基準に換算する。点数とグレードの対応は以下の通り。 80 点以上 A 80 点未満 70 点以上 B 70 点未満 60 点以上 C 60 点未満 50 点以上 D 50 点未満 F	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 データを分析するにあたり常に学生と同じ視点にたつて、丁寧な指導をこころがける。一方で、学生に対してはデータ分析を行って求められた数字の裏に存在する現実や、将来生じるであろう未来の出来事に思いをはせるような「想像力」をもって講義に臨むことを期待する。 実証分析は知識とコンピュータ操作のスキルを同時に積み上げていく学問なので継続的な取り組みが要求されることを肝に銘じてほしい。教科書の例題を用いた練習も行うので、毎回必ず持参すること。	
〔実務経歴〕 統計解析ソフトウェアの数式による理論面も含めた統計解析ソフトウェアへの教育に長くたずさわってきました。積極的にソフトウェアを活用して、経済理論を検証しながら色々なデータ分析に挑戦する授業を行います。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): イン트로ダクション/母集団と標本、統計的推論/相関と因果/和記号の性質 教科書第1、2章
第2回	テーマ(何を学ぶか): 確率論の復習 1 教科書第3章
第3回	テーマ(何を学ぶか): 確率論の復習 2 教科書第3章
第4回	テーマ(何を学ぶか): 統計的推論の復習 1 教科書第4章
第5回	テーマ(何を学ぶか): 統計的推論の復習 2 教科書第4章
第6回	テーマ(何を学ぶか): 単純回帰分析 1 教科書第5章
第7回	テーマ(何を学ぶか): 単純回帰分析 2 教科書第5章

第8回	テーマ(何を学ぶか):重回帰分析1 教科書第6章
第9回	テーマ(何を学ぶか):重回帰分析2 教科書第6章
第10回	テーマ(何を学ぶか):重回帰分析3 教科書第7章
第11回	テーマ(何を学ぶか):操作変数法1 教科書第8章
第12回	テーマ(何を学ぶか):操作変数法2 教科書第8章
第13回	テーマ(何を学ぶか):パネル・データ分析1 教科書第9章
第14回	テーマ(何を学ぶか):パネル・データ分析2 教科書第9章
第15回	テーマ(何を学ぶか):マッチング法 教科書第10章
試験	レポート課題の提出